

科 目 名

技術者倫理 Engineer Ethics

1年 前期 1単位 選択

木村 義政・村田 勝昭・松熊 邦浩
青木 振一・中川 豊・西 宏之
向井 栄一

概 要

環境、エネルギー、人口などに関わる地球規模の問題を解決するため人類の科学技術への依存度が高まっている。しかし、人類を救うはずの技術開発において企業経営者や技術者の倫理観の欠如による事件・事故が頻発して社会的批判を浴びており、科学技術を担う技術者には高い倫理観が求められている。本講義では、技術者倫理を「技術」、「法律」、「倫理」の3点から捉える方向と、現代の複雑化した組織と個人の関係から捉える方向との2つの立場から述べる。技術者倫理の要素である注意義務、説明責任等について説明し、実際に生じた事故の事例を挙げて議論する。これを通じて企業における技術者倫理のあるべき姿を模索する。

目 標

- ① 技術者倫理とは何であるかを知り、その必要性を理解する。
- ② 過失によって生じた実際の事件・事故の例をケーススタディとして、それが生じる背景、メカニズムを理解する。
- ③ 最先端技術に従事する技術者として保持すべき倫理を修得する。

授業計画

テ ー マ	内 容
① 概要	技術者倫理の定義、必要性
② 技術者と組織	技術者の主張と企業利益の相反、組織風土、技術者のコミュニティ、人間関係、ネットワークにおける事例
③ 注意義務	雪印乳業食中毒事件、職務と注意義務、事故責任の法、PL 法
④ 技術者とモラル責任	インターネット利用モラル、ビジネスとモラル
⑤ 説明責任と警鐘鳴らし	立証責任、情報開示、警鐘通報のメカニズム
⑥ 環境と技術者	環境倫理の枠組み、持続可能な開発、地球規模での制御
⑦ 技術者の財産的権利	企業財産の持ち出し、特許権、株式オプション

評価方法

各テーマ毎にレポート等により評価を行い、その平均点で評価する。

教 材

教科書：杉本泰治、高城重厚 著「技術者の倫理 入門」、丸善

参考書：北海道技術者倫理研究会 編「オムニバス 技術者倫理」、共立出版